

京都大学医学部附属病院や、関連病院を受診し、肺炎と診断された患者さんへ 「成人市中発症肺炎(COP)における肺炎球菌性肺炎の疫学研究」のご案内

このたび、京都大学医学部附属病院呼吸器内科では、長崎大学熱帯医学研究所と共同で、標記の研究を行います。以下に概要をお示ししますので、お問い合わせ、参加拒否のご意向がありましたら、下記の連絡先までご連絡をお願いします。

～研究概要～

背景と目的：肺炎球菌は、最も頻度の高い肺炎の原因菌です。65歳以上の高齢者には、この肺炎球菌に対するワクチンが定期接種となっています。肺炎球菌には90種類以上の型があり、現在の定期接種ワクチンはその中で23種類を予防するものです。また、肺炎球菌に対して本来効くはずの抗菌薬（例えばペニシリンなど）が効かないという薬剤耐性の問題が起こっています。肺炎球菌の型と薬剤耐性の関係や、これらの広がりの様子については、まだよくわかっていません。そこで、この研究では、患者さんの喀痰や血液の検査で出てきた肺炎球菌を用いて、これらの問題について研究することを目的とします。

研究対象者：2019年4月から2021年3月の期間に肺炎球菌による肺炎と診断された18歳以上の患者さん

研究に用いることから：検査で検出された肺炎球菌（菌株）と、患者さんの臨床データを用いて研究します。患者さんのお名前などの個人情報には用いません。

患者さんにとって、この研究にご協力いただくことで利益も不利益もありません。また、ご参加を拒否されても何ら不利益はありませんし、ご参加いただくことに対する謝礼も発生しません。

この研究は、長崎大学と京都大学の医の倫理委員会でも審査され、承認を受けたものです。

研究参加施設(予定含む。NPO外施設含む。順不同。)

大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

市立岸和田市民病院

日本赤十字社 和歌山医療センター

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター

彦根市立病院

洛和会音羽病院

神戸市立医療センター中央市民病院

国立病院機構 姫路医療センター

京都南病院

新京都市南病院

大阪赤十字病院

天理よろづ相談所病院

大阪府済生会中津病院

田附興風会医学研究所北野病院

静岡市立静岡病院

京都大学医学部附属病院

杉田玄白記念公立小浜病院

公益財団法人東京都保健医療公社 荏原病院内科

明石医療センター

堺市立総合医療センター

大津赤十字病院

神戸市立医療センター西市民病院

～連絡先～

京都大学医学部附属病院呼吸器内科 伊藤功朗

電話:075-751-3830